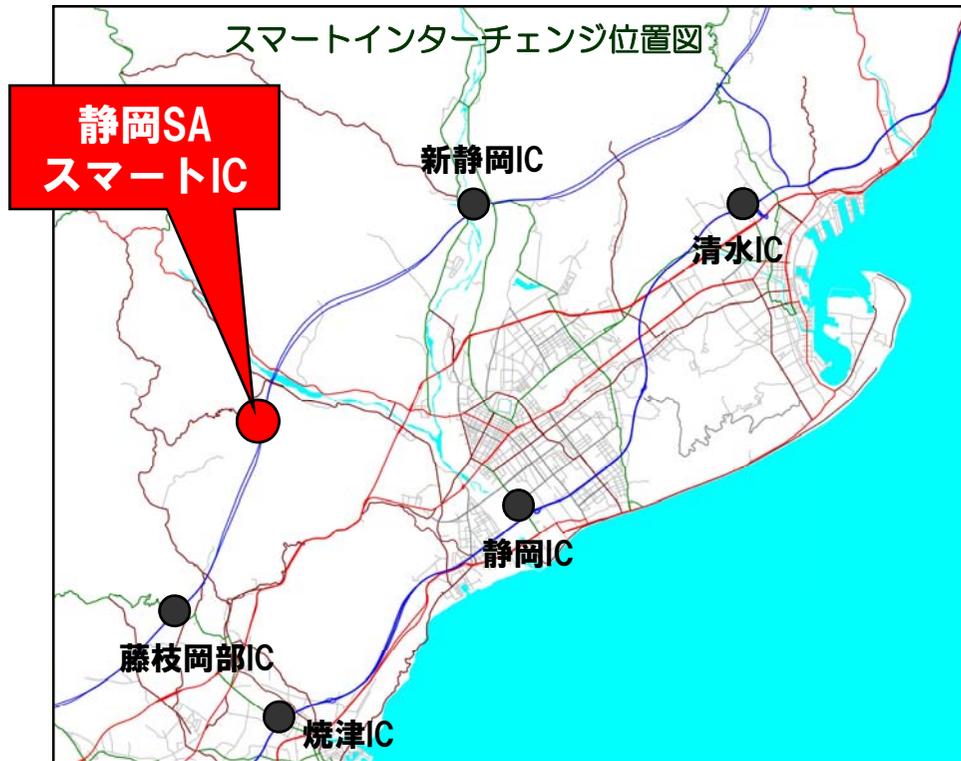
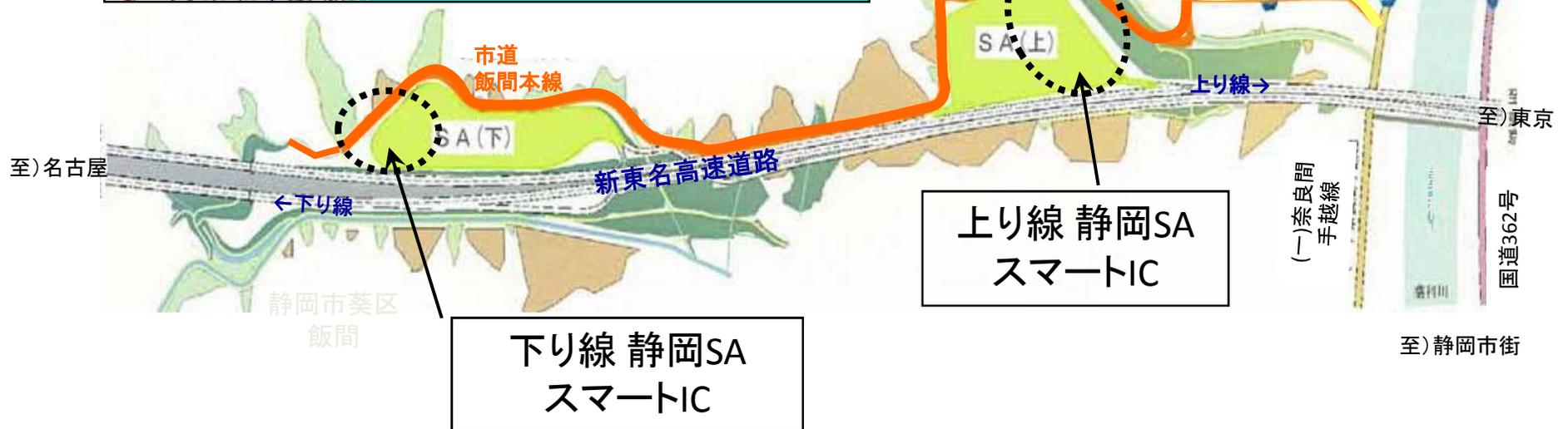


【資料1】



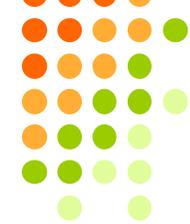
【スマートICとは】

スマートICは、高速道路の本線やサービスエリアを利用し乗り降りができるように設置されるETC専用のインターチェンジです。簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため従来のインターチェンジに比べて建設・管理コストの縮減が可能であるというメリットがあります。



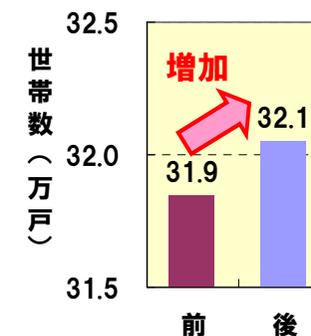
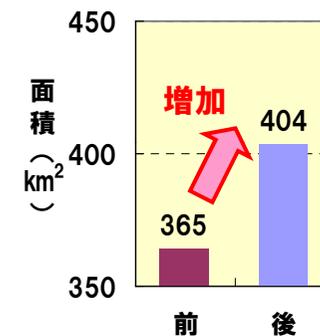
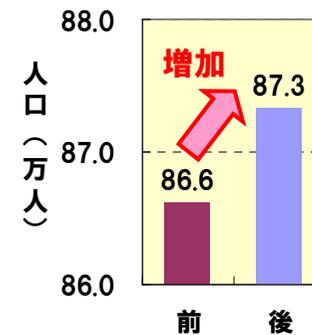
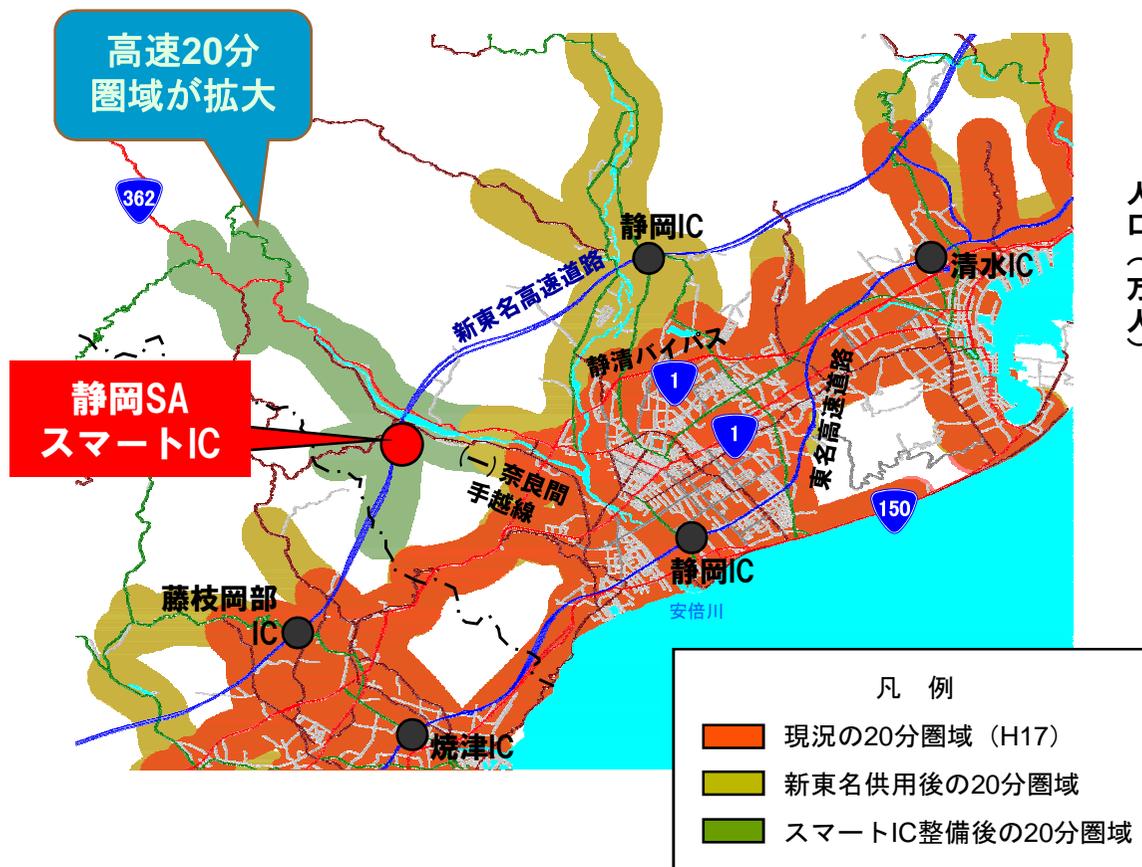
静岡SAスマートICの設置により期待される整備効果

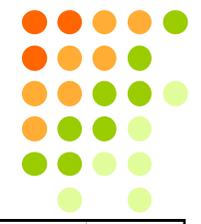
【資料1】



①広域交通網へのアクセス向上(20分圏域拡大)

静岡SAスマートICの整備により、高速道路ICの20分圏域人口が**86万6千人**から**87万3千人**へと増加(+7千人)する。



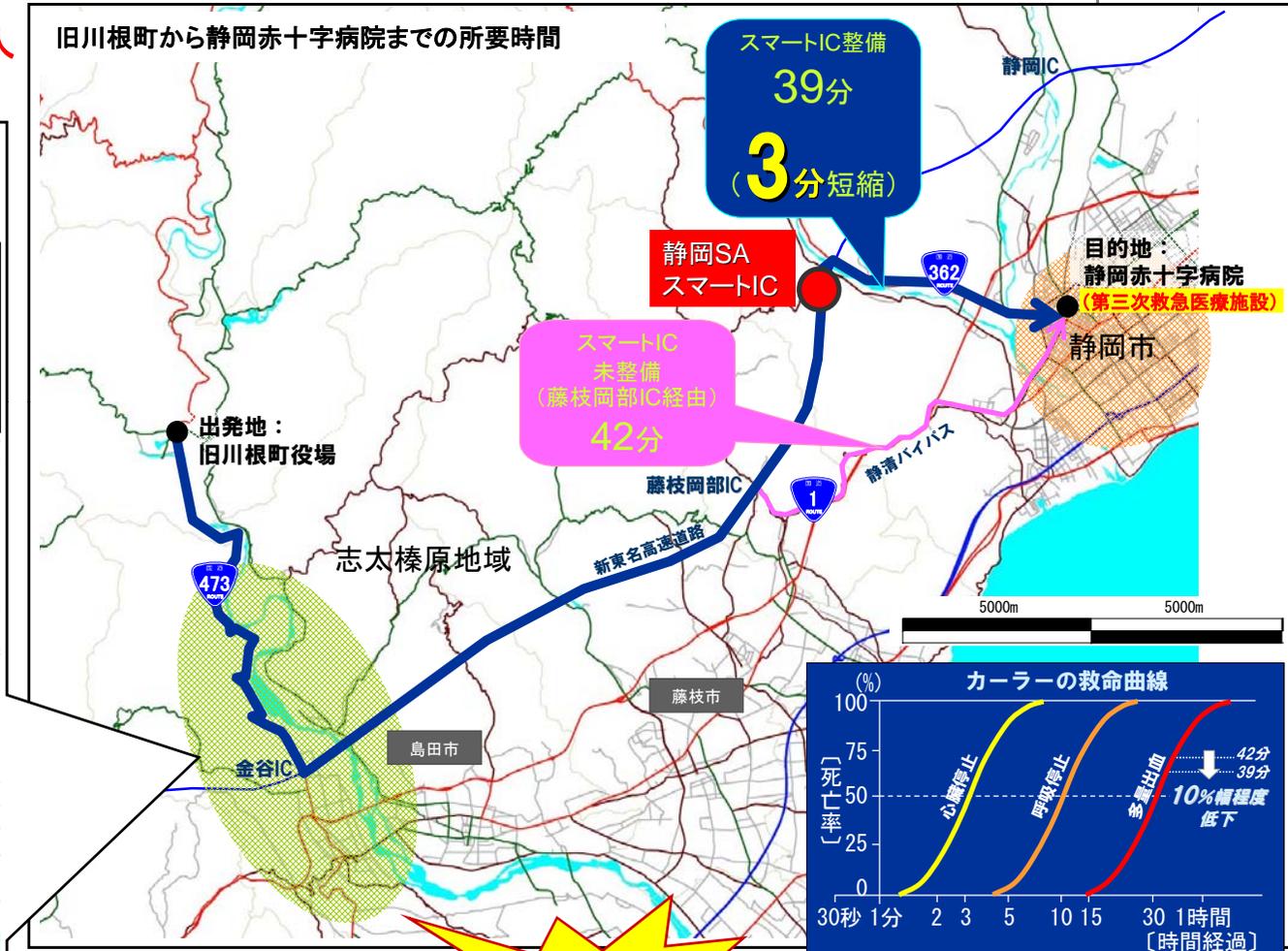
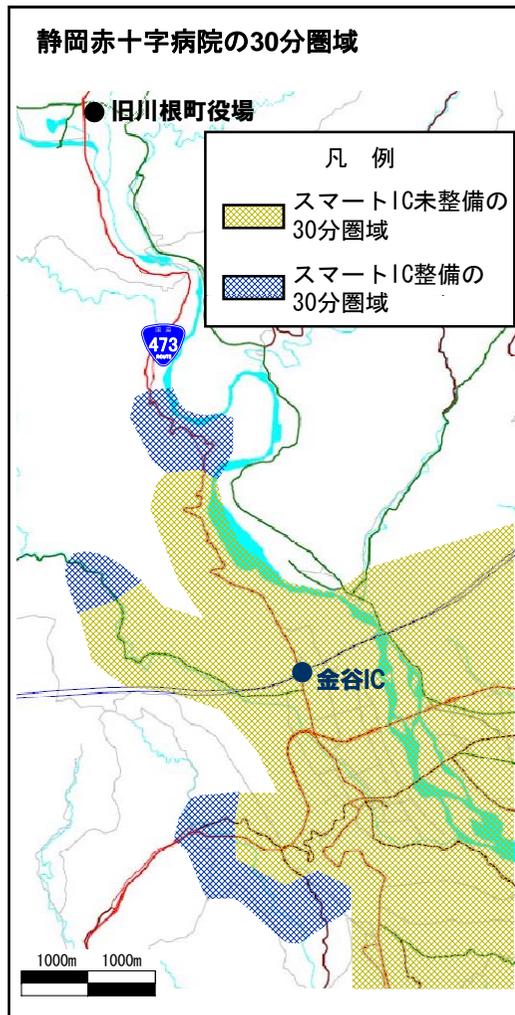


静岡SAスマートICの設置により期待される整備効果

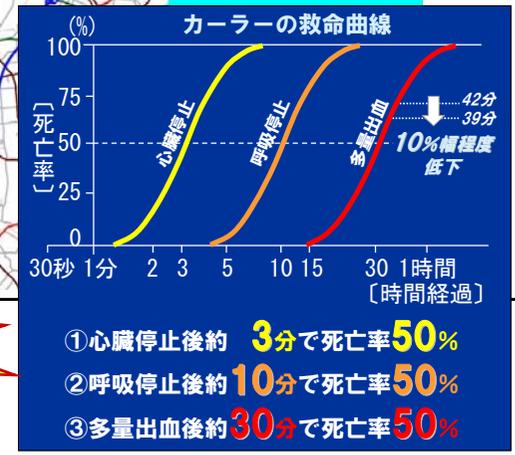
②志太榛原中山間地域の救急医療サービスの向上

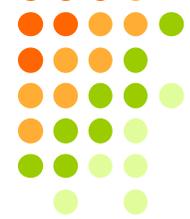
スマートIC以西の新東名沿線地域から静岡市内の3次救急医療施設までの所要時間が短縮！

- 旧川根町から静岡赤十字病院までは3分短縮。
- 同病院の30分圏域が拡大し、圏域人口は1,200人の増加！



数分の搬送時間の違いが死亡率に影響





静岡SAスマートICの設置により期待される整備効果

③大規模災害への対応強化

■東海地震等大規模災害時の新東名静岡SAスマートICを介した物資等の輸送

- ・市中心部からの緊急援助物資等の搬送が遅滞する場合、**新東名静岡SAスマートICからの直接搬送により緊急援助の遅滞を回避。**

◎新東名静岡SAスマートICを介した物資等の輸送が可能な世帯数

- ・藁科川筋の地域()
=約 3,600世帯
- ※新東名静岡ICによりカバーされる安倍川筋の地域 =約10,600世帯

